

ひびき

hibiki

取手市議会だより第200号
2013(平成25)年2月1日発行

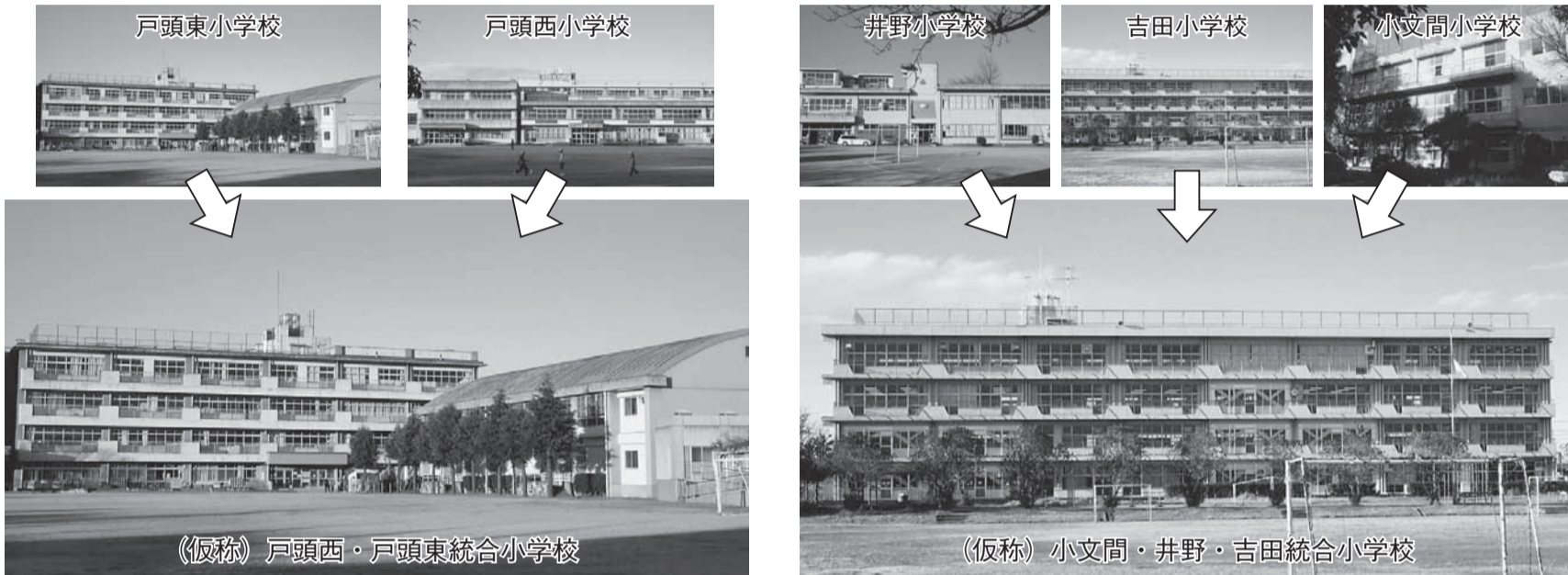
<紙面から>

取手市議会は、昨年11月28日から12月20日までの間、平成24年第4回定例会を開催しました。

今定例会には、市長から学校設置条例の改正の議案が提出され、小学校の統廃合について議論されました。

また、取手駅西口周辺地域の開発（ウェルネス・タウン取手の創造）については、歩行者デッキ整備事業の契約に係る議案や、取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算が提出されました。

発行責任者／取手市議会議長 倉持光男
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
ファクス 0297-74-1990
ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp



●市立学校設置条例の一部改正：可決
①小文間小、井野小、吉田小を統合し、現在の吉田小に統合校を設置し、
②戸頭西小、戸頭東小を統合し、現在の戸頭東小に統合校を設置するもの。
・統合の時期：平成27年4月1日

〔討論〕
鈴木議員：平成20年の学校適正規模適正配置審議会の答申は地区説明会を十分行うことを求めている。今議会には（小学校統廃合の）請願・陳情が10件出されたが（4件参照）、これを合意はいまだに図られていないと見るべきでは。もっと住民と話し合いを。反対。
池田議員：小文間小は複式学級になる可能性が高く、教育充実のため賛成。井野小と吉田小、戸頭東小と戸頭西小は、統合により各学年3クラスになると専科の先生が配置されるなどのメリット。学校の跡地利用の検討委員会を早急につくっていただきたい。賛成。
市村議員：音楽、芸術でも人数が多いことでの恩恵がたくさんある。スポーツの種類も増え、その専門の先生が増え、学校行事が増え、選択肢が用意できる。こう

した選択肢というものは、その学校ごとにあるべき。賛成。
関戸議員：説明会は5月から始めて、PTA役員、市政協力員、保護者、住民、すべて1回と極めて不十分。このまま条例を可決すると一層市と市民との間が開いてしまう。子育て環境をどう充実させていくか、こういう点から考えても今決めるべきではない。反対。
飯島議員：多くの保護者が通学時間・距離が延びることについて危惧していた。今後どのように小学校を地域の防災力の要とするのか。子育て環境の充実からも検討が必要。統廃合計画をより充実したものにすることを求め、反対。
平議員：先生が足りなかったら出張教師とすればいい。子どもの数が足りないときは合流スクールにすればいい。

H17年	取手市立小中学校適正規模適正配置審議会（委員は学識経験者2名、市議会議員4名、その他6名の計12名）設置。教育委員会が同審議会に適正規模・適正配置の基本的考え方、具体的方策について諮問。
20年	審議会が答申。小学校18→12・中学校8→6の方向性を示す。
21年	答申等に基づき、教育委員会が取手市立小中学校適正配置基本計画を策定。取手市の小学校の適正規模を「各学年が複数学級で12学級以上、1学級の人数は30人前後」と定める。
23年	永山中・野々井中が統合。
24年	取手一中・東中が統合。井野小・小文間小・吉田小、戸頭東小・戸頭西小の統合が決定。（今定例会）

この設備の破棄、前の時代の成果を破壊すること。人間の尊厳に対する敬意は投げ捨てられる。最後の美しいメモリーであるかけがえない存在。反対。
結城議員：1年前、山王小の廃止を中止する請願を苦しい思いの中で不採択とした。市は合意形成の手法を勉強し、市民が市と協働でまちづくりをできるような体制を。子どもたちの未来をしっかりと考えなければいけない。賛成。
小嶋議員：統合の目的は子どもたちを健全育成するための教育環境の充実。拙速だと言って時間をかけても子どもはすぐには増えない。市長は小文間小の跡地について、今のたまたま思いを変えずに伝統と地域の思いを残して有効利用を図ること。賛成。

小学校統廃合始まる!! 議案可決

市長提出議案(続き)

●市有財産の処分：可決
旧野々井中の土地・建物・設備売却の仮契約(※)を締結したことに伴い、議会の議決を求めるもの。

〔討論〕
加増議員：住民の間から、「公教育を低下させるものだ」「跡地利用は市民と一緒に検討すると言っていたはず」と疑問が出ている。売却額は当初の建設費の2割に及ばない。市民の財産はそんなに軽いのか。市民の財産の切り売りは認められない。反対。

※市は、議会の議決が必要な契約を結ぶ場合、議決を得たときに本契約が成立する旨の文言を入れた契約書により仮契約を締結します。



<旧野々井中学校売却の契約>

- ・売却の相手方 … 学校法人江戸川学園
- ・売却資産と売却価格

種類	内容	売却価格
土地	17,199 m ²	2億 123万円
建物・施設	校舎 体育館 プール等	1億 8,362万円
合計価格		3億 8,485万円

●空き家等の適正管理に関する条例：可決

〔討論〕
家屋の所有者等に適正管理を義務付け、市は空き家の実態調査を行い、所有者等に助言・指導・勧告・命令を行うもの。

〔討論〕
落合議員：公明党市議団は、平成21年より本会議等でこの条例の制定を求めてきた。市民待望の条例であり、市民の安全で安心な生活環境を守る大きな一歩。賛成。
遠山議員：高齢化による世帯の変化等から空き家が増えている。危険な状態に進展していく事態を事前にとらえ、管理する方策が必要。これはその第一歩。賛成。

●こども発達センターの設置及び管理に関する条例の一部改正：可決

〔討論〕
建物の老朽化に伴い、同センターを東京電力取手営業所跡地(西二丁目)へ移転するもの。

〔討論〕
阿部議員：早期に移転を望む声が議会に寄せられていたが、東日本大震災による建物の被害等を考え、移転することになったことを歓迎。さらに充実したセンターとなることを望み、賛成。

青少年センター



青少年の健全育成・指導推進のための施設

こども発達センター



発達に遅れや偏りがある子どもの福祉増進のための施設

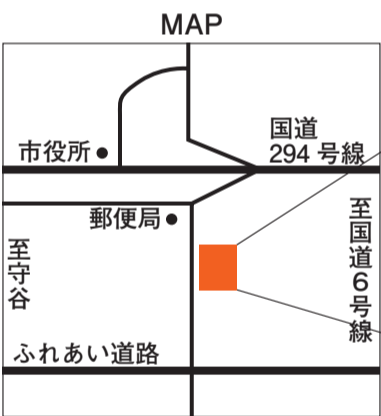
●青少年センター設置条例の一部改正：可決

〔討論〕
建物の老朽化に伴い、同センターを東京電力取手営業所跡地(西二丁目)へ移転するもの。

〔討論〕
阿部議員：こども発達センターと同じ建物に入るの福祉部門との連携も強化。今後はNPOとの連携も視野に入れ、悩める青少年やご家族が気軽に相談に来れるセンターとなることを望み、賛成。



東京電力取手営業所跡地



〔討論〕
染谷議員：公明党が提案していた救急医療情報キットを高齢者に全戸配布、バス運行事業負担金で市民の交通手段を確保している。賛成。
池田議員：自立支援給付金が増え就労する人が増えているのは喜ばしい。旧野々井中の売却時、放射能除染もすっかり行われる。賛成。

●一般会計補正予算(第8号)：可決
補正予算額：7億8916万9000円

〔討論〕
障害者自立支援給付費増／災害時要援護者の情報共有整備／高齢者に救急キット配布／災害現場活動用資機材購入／老朽化火の見やぐら解体撤去／旧野々井中売却収入の基金積み立てなど

●市道路線の認定：可決
取手駅北土地区画整理事業により整備された道路等を市道に認定するもの。

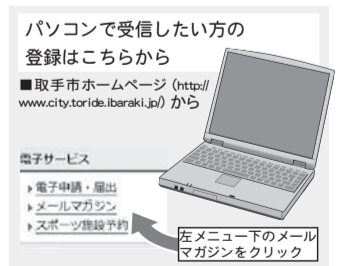
〔討論〕
加増議員：取手駅西口の区画整理事業区域内の市道認定は、ウエルネスプラザ整備のため。ウエルネス・タウン構想に批判が集中しているものと、整備もされていない道路の認定をなぜ急ぐのか。反対。

〔討論〕
結城議員：まだ形になっていない道路をなぜ認定するのかという話だが、市は、ここは固い意思のもとで整備するため認定することにと。認定をすることによって区画整理事業も一歩前進。これはウエルネスプラザとは別物。賛成。

ちょっと見てって

議会事務局では、議会の日程や審議結果、一般質問通告内容などをお知らせする「ひびきメール」を配信しています。登録方法は次のとおりです。

- ・パソコンでの受信…取手市ホームページから
- ・携帯電話での受信…次のQRコードまたは取手市携帯(<http://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>) サイトから



また、ツイッターによる本会議・委員会・全員協議会開催などの市議会の予定や、議会に関する情報など議会情報の提供を行っております。

URLは http://twitter.jp/toride_gikai になります。また、携帯電話は、QRコードによりアクセスすることができます。

●取手駅西口歩行者デッキ整備工事請負契約の締結：可決

同工事の仮工事請負契約締結に伴い、議会の議決を求めるもの。

＜取手駅西口歩行者デッキ整備工事の請負契約＞

- ・契約相手方…日本国土・大竹特定建設工事共同企業体（日本国土開発株式会社、大竹建設株式会社）
- ・契約金額…4億7,040万円
- ・契約方法…一般競争入札
- ・工事概要…西口の既存デッキから四ッ谷橋方面へのデッキ延伸整備
- ・延長・幅員…延長118.7m、有効幅員4m
- ・工事期間…平成26年3月15日まで

点、歩行者経路の確保が第三者売却時に不透明、反対。
川又議員：白山地区に年配の方が多くなり、駅前への買い物帰りに治助坂を上がるのは苦痛。東京で働く人も、帰りに坂を上がるのは大変。デッキができるのはありがたいと言っている。賛成。

●取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算(第2号)：可決

人件費調整による減と建物移転補償費の増など。

・補正予算額：2700万円

〔討論〕

加増議員：まちづくりには何より住民合意が必要。住民合意なきウエルネス・タウン構想、ウエルネスプラザ建設計画を推進するため今回の補正予算に反対。

●取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算(第3号)：可決

継続費の補正。(歩行者デッキ整備事業1億8000万円減、自転車駐車場整備事業6600万円増)

〔討論〕

鈴木議員：自転車駐車場工事の入札不調により、予定価格を増やして再度入札を図るから、補正を認めるといふもの。一般競争入札が受注価格引き上げ要求に応じるためのセレモニーであってはならない。反対。

平議員：判断というものはできれば平等に扱っていきたいもの。自分サイドからだけの都合のいい解釈はやるよう考え、賛成。
池田議員：自転車放置場所にラック式駐輪場をつくり、東口にも同様の駐輪場をつくったほうが利用者も喜ぶ。そうなる(需要台数として)自走式と機械式駐輪場一つあれば十分、補正予算を組む必要性はない。反対。
小嶋議員：西口開発のスタートになる建物であり、美観上、利便性にすぐれた、放置自転車がなくなることも期待できる施設。賛成。
結城議員：現場状況等を入札不調の原因としているが、分かり切っていること。一高脇の駐輪場をなくすと、その利用者が西口に集中し、(東西)駅前の一体的な活性化につながる。反対。

●(仮称)取手駅西口自転車駐車場新築工事における入札不調の検査に関する動議(議員提出)：否決

委員10人の特別委員会を設置し、11月29日に一般競争入札が行われて不調となった(仮称)取手駅西口自転車駐車場新築工事について、地方自治法第98条第1項の規定による検査を行うもの。

〔提出者〕

佐藤(清)議員ほか1人

意見書

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。可決された意見書は、その意見を処理することができる行政庁や国会に提出されます。

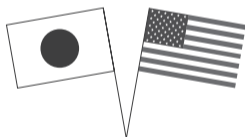
●米兵による犯罪を根拠からなくし、対等・平等・友好の日米関係構築をめざし、日米安全保障条約の廃棄を求める意見書：否決

〔提出者〕 関戸議員ほか2人

〔討論〕

平議員：安全保障を破棄すれば、その後、戦いになる心配が一つ増える。反対。
鈴木議員：今や世界は軍事同盟から対等・平等の関係へと変化している。軍事同盟への固執は逆に国を危うくする。安保条約を解消し、友好条約を結ぶ時期。賛成。
小嶋議員：日米安保破棄を求めるのであれば、日本も正式な軍隊を持たないと国を守る事ができない。意見書には大事なことが抜けしている。反対。

池田議員：日米安保条約は不平等であり破棄すべきという点では賛成。ただ破棄した後、アメリカとの関係をどう構築していくのか書いていない。反対。



●水道使用基本料金の細分に関する意見書：可決

〔提出者〕 阿部議員ほか7人

〔討論〕

関戸議員：高い水道料金を下げてもらいたいという趣旨。県南水道の中でも、契約水量の見直しを県に求め、県は国に強く働きかけていく。そのことによって趣旨が生かされる。賛成。

●次代を担う若者世代支援策を求める意見書：可決

〔提出者〕 落合議員ほか3人

〔討論〕

関戸議員：働く人の所得を増やすため、中小企業への助成も含めた最低賃金の引き上げなど、若者に希望を与えられる政策を強く求め、この意見書に賛成。

ここも見てって



取手市議会では、本会議の生中継を行っております。インターネットに接続できるパソコンをお持ちの方は、取手市役所ホームページからご覧いただけます。

また、本会議の録画配信も行っております。さらに、過去の本会議会議録や委員会記録を検索・閲覧できる「会議録検索システム」もありますので、ご利用ください。

皆さんの希望です 請願・陳情

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べるものです。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。陳情は、法で定められた権利ではありませんが、取手市議会では、請願と同様に審議しています。

各請願・陳情の要旨	
①	・小学校統廃合の中止・見直し ・戸頭西小の存続 ・戸頭西小の耐震補強の実施
②	・小学校の廃校の中止 ・学校の耐震化の早期実施
③	・小学校統廃合の白紙撤回 ・戸頭西小の存続 ・戸頭西小の耐震化の早期実施
④	・白山西小の存続 ・白山西小の耐震化の早期実施
⑤	・住民代表が入った小文間小統合検討会の設置 ・学校設置条例等改正は住民の合意のもと進めること ・説明会での市長の発言について、地区区長との覚書の締結
⑥	・小文間小の存続 ・少人数学級の推進

●①小学校の統廃合計画の見直しを求める請願
●②小学校統廃合計画の中止を求める請願書
●③戸頭西小学校の存続・耐震化を求める請願
●④白山西小学校の存続・耐震化を求める請願書
●⑤小文間小学校統合に関する陳情
●⑥小文間小学校の統合に関する陳情

採決結果：いずれも不採択

〔討論〕
関戸議員：少子化対策は重要だとしながら、やろうとしていることは少子化推進策ではないか。地域のさまざまな事情をくみ上げることを求め、全てに賛成。
川又議員：戸頭西、白山西小周辺は人が増えていて廃校の必要はない。耐震化の遅れは生徒の命を軽んじているのでは。安心して勉強できる環境を。③④に賛成。
飯島議員：①②③耐震化の部分が有意義。④地域の考えを受け止めて進めるべき。⑤合意形成を図るため検討会は有効。⑥少人数学級の効果を検証して計画に生かしてほしい。全てに賛成。
平議員：画一的であってはいけない。その状況をきちんと把握しなくてはならない。①③④に賛成。

※このほかに3件の井野・小文間小存続に関する請願・陳情が提出されましたが、先に可決した学校設置条例の一部改正に相反する内容のため、みなし不採択となりました。

校の必要はない。耐震化の遅れは生徒の命を軽んじているのでは。安心して勉強できる環境を。③④に賛成。

飯島議員：①②③耐震化の部分が有意義。④地域の考えを受け止めて進めるべき。⑤合意形成を図るため検討会は有効。⑥少人数学級の効果を検証して計画に生かしてほしい。全てに賛成。

平議員：画一的であってはいけない。その状況をきちんと把握しなくてはならない。①③④に賛成。

●上下水道使用基本料金の細分に関する陳情：採択
使用量10㎡まで一律料金とするのではなく、（少量の使用でも）使用量に応じた公正・妥当な額に上下水道料金を細分することを求めるもの。
〔討論〕
佐藤（隆）議員：全体的な見直しを県南水道議会できらに議論して、納得できる結論を出すべきとの思いを込めて、賛成。

●小文間小学校の統廃合に関する陳情：採択
小学校統廃合の結果、同校が廃校となっても、その施設を営利団体等に売却せず、再度学校に転用可能な状態で地域住民が利用できるよう市が管理することを求めるもの。
〔討論〕
小嶋議員：先人が築き上げた財産が営利に使われる危険、子どもの声が聞こえなくなる寂しさが地域にある。子どもが放課後集まれるような施設にすれば、子どもの歓声も途絶えない。賛成。

●取手駅西口地区の活性化早期実現を求める請願
●市民の多様なニーズを満たす多目的ホールの建設を求める請願
採決結果：いずれも採択
〔討論〕
鈴木議員：先日、西口再開発ビルがリボンビルへと生まれ変わったが、プラザに入る予定のものはここを活用することが可能。無駄な開発を進めるのではなく、市民の意見を生かしたまちづくりを。二つの請願に反対。
飯島議員：①は、パブリックコメントでのウエルネスプラザ等への反対意見をどう酌むのが今求められているので反対。②はウエルネスプラザに多目的ホールを建設することが前提の請願だが、情操教育に大きく貢献する本格的な中ホール建設が求められている。反対。
染谷議員：②の請願者からの説明で、300〜400人の多目的ホールは多種多様な芸術活動に適している理由を伺い納得できた。近隣に同規模の新しいホールはなく、近隣からの利用も予想される。②に賛成。
齋藤議員：①は、駅周辺関係者が駅前空間は市民共有の財産であるとの認識に立って出された請願。皆さんと協働して活性化を図るべき。①に賛成。

●財政（資金）計画が大幅に変更（拡大）された「ウエルネス・タウン取手の創造」に関する請願書
〔（仮称）ウエルネスプラザ整備計画（案）関係予算の執行停止を求める請願書
●「（仮称）ウエルネスプラザ整備計画」の中止を求める請願書
採決結果：いずれも不採択
〔討論〕
加増議員：膨れ上がるウエルネス・タウン構想事業費に疑問の声。払拭できないうちは予算の執行を停止すべき。そのためにも百条委員会を設置を。3件に賛成。
川又議員：この計画をつぶしてしまつたならば、もうあの土地は永遠にあのまま。3件に反対。
池田議員：歩きたいまちづくりをどうつくるのか、キーで、それはプラザをつくることではない。説明なしに予算が膨らむことに危機感を感じる。3件に賛成。
入江議員：やつと西口の開発の第一歩を踏み出したところ。後戻りすることが本当に市民のためになるのか。駅周辺地区の活性化こそが市民の願い。3件に反対。
飯島議員：ウエルネス・タウン構想にみんな期待していたが、失望に変わり、集約されたのが今回の請願。立ち止まって市民の声を聞いてみよう。3件に賛成。

●「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める請願書：一部採択（左表参照）
〔討論〕
鈴木議員：取手の子は内部被曝の危険にさらされている。とりわけ食の安全には厳しい監視を。また放射能が少ない所での保養は健康に良い例がある。ウエルネスを標榜するなら請願を受け入れるべき。賛成。

●「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める請願書：一部採択（左表参照）
〔討論〕
鈴木議員：取手の子は内部被曝の危険にさらされている。とりわけ食の安全には厳しい監視を。また放射能が少ない所での保養は健康に良い例がある。ウエルネスを標榜するなら請願を受け入れるべき。賛成。

●駅前窓口移転に関する陳情：採択
市役所駅前窓口を「リボンとりで」に移転することを求めるもの。
〔討論〕
入江議員：リボンよりもウエルネスプラザの中、または周辺へ移転したほうが良いのでは。時期尚早。反対。

事項	各請願事項の内容	結果
1	原発事故子ども・被災者支援法の対象地域に指定されるよう、国に働きかけること。	採 択
2	甲状腺検査を含む健康調査を長期的、定期的実施すること。	採 択
3	給食センターや各校の給食調理室に放射能測定器を配置し、全食品の個別検査を実施すること。	不採択
4	放射能を体内から出すための保養施設確保に努めること。	不採択
5	医療、市民、各専門家等との協力体制づくりに努めること。	採 択

※各議員の賛否については10ページの「議決等結果」の表をご参照ください。

●駅前窓口移転に関する陳情：採択
市役所駅前窓口を「リボンとりで」に移転することを求めるもの。
〔討論〕
入江議員：リボンよりもウエルネスプラザの中、または周辺へ移転したほうが良いのでは。時期尚早。反対。

●「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める請願書：一部採択（左表参照）
〔討論〕
鈴木議員：取手の子は内部被曝の危険にさらされている。とりわけ食の安全には厳しい監視を。また放射能が少ない所での保養は健康に良い例がある。ウエルネスを標榜するなら請願を受け入れるべき。賛成。

●駅前窓口移転に関する陳情：採択
市役所駅前窓口を「リボンとりで」に移転することを求めるもの。
〔討論〕
入江議員：リボンよりもウエルネスプラザの中、または周辺へ移転したほうが良いのでは。時期尚早。反対。

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、22人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

大介護時代の到来

阿部 洋子 議員



介護マーク

と思うので、家族ではなく、男性介護者に視点を置かなくてはならないと思う。

問 認知症サポーター養成講座について、市職員にも拡大しては。

健康福祉部長 3月11日に福祉交流センター、3月14日に藤代庁舎で養成講座を開催。市民、職員に参加の呼び掛けを考えている。

ウエルネス・タウンの取り組みは？

齋藤 久代 議員

問 知恵、工夫、執念でヘルスリテラシー（※）の普及に取り組みなければならぬと思う。市長の考えは。

市長 取手に住む全ての人々が健康を志向する生活習慣を身に付け、健康を志向しようと思った場合、人を健康にしていく資源が手に取れるところに備わっている地域づくりをしなければと考えている。

問 ウエルネスに特化したブランド戦略の考えは。

まちづくり振興部長 健康をキーワードにして展開を図ることが、将来的にウエルネスというブランドにつながる。今は底辺を広げていく段階。

問 ウエルネスの思想を根本にすると、自転車に注目した環境づくりも重要なテーマと考えるが。

都市整備部長 西口の駐輪場の中では、一時預かりだけでなくレンタサイクルも考えている。ウエルネスプラザには、シャワー室やロッカールームの設置も考えている。

問 ポイント制度など、健康な体・生活を実践する市民が楽しんで参加できる仕組みを実施しては。

まちづくり振興部長 各種取り組みの中で総合的なポイント制度ができれば、ウエルネスに対して、かなり市民の関心も高まる。検討したい。

※ヘルスリテラシー：健康面での適切な意思決定に必要な基本的健康情報などを調べ、効果的に利用する個人的能力

ウエルネス構想とスポーツ

落合 信太郎 議員

問 スポーツを通じた介護予防、健康増進の効果は、活力あるまちづくり、ウエルネス構想に含まれる。構想の中で総合型地域スポーツクラブの位置付けと、今後の支援の在り方を伺う。

教育部長 総合型地域スポーツクラブは、それぞれの地域の特色を生かして活動を行っている。支援を続けたい。

問 総合型地域スポーツクラブの施設の運用状況は。スポーツ生涯学習課長

グリーンスポーツセンター、藤代スポーツセンター、小中学校の体育館・武道場・校庭、公民館を開放し活動を行っている。

問 統廃合による学校の空きスペースの利用も引き続き検討しているか。

答 跡地利用が決定するまでは開放を続けたい。

問 スポーツ施設がだいぶ老朽化している。向原公園のテニスコートは改修要望も出ている。財政の厳しい中、例えば料金の見直しで要望に応えることはできないか。

建設部長 スポーツ施設の修繕は難しい。向原公園のテニスコートは、国交省の堤防工事で公園の一部が買収される予定のため、その資金で一部改修する。使用料の見直しは考えていない。



向原公園テニスコート (西)

生き残り（現時代の政治的必然性）

平 由子 議員

問 お金は、資本主義の体の内部を流れる生きた血液である。不平等、失業等で、この流れが止まればその体は死ぬ。不労所得者の不動産レント（収益）等で終わりになき資本の蓄積・成長と、それに付きまとう格差。今日、国と資本とがかつてなく緊密である。東電措置で国民の将来負担は無量大。東電職員は前年度巨額のボーナスを受け取った。人々は資産を失い、甚大な環境悪化、生活水準の下落に耐え、結果起こる騒乱に、政治的弾圧、警察の暴力、軍事統制が想像される。キャリア、業績、確信、精神、尊厳は捨てられた。ケインズが救済の対象としたのは労働者階級で、上層階級ではない。政治的必要性からではなく経済的必要性からだ。国から権限が移譲される中、強い取り組みを。まちづくり振興部長 県内で水戸、日立市に次いで中小企業への融資支援を行っている。また産業振興の観点から、事業所との情報の共有のため、ネットワークづくりを行っている。

いじめ問題対策

染谷 和博 議員

問 市のいじめ対応マニュアルについて伺う。

答 教育長 対応マニュアルの内容は、いじめ発見から事実確認、さらに、いじめ対策委員会での対応を検討し、全職員で組織的に取り組んでいる。教育委員会は、学校と連絡を密にして適切な支援を行っている。

問 板橋区の学校緊急対応チーム「START」は、校長、副校長経験者で構成され、長年の教員経験を生かして、いじめ問題に取り組んでいる。当市においても必要ではないか。

答 教育委員会と教育相談センターとの連携を積極的に展開できるように考えたい。

問 岐阜県可児市では、子どものいじめの防止に関する条例が制定された。市が、学校にいじめの防止と解決に向けた対策をとる責務を明記し、市民にも情報提供を求めている。また、専門員が調査や解決に向けた権限を持つ第三者委員会も設置された。当市においても、条例が必要だと思いませんか。

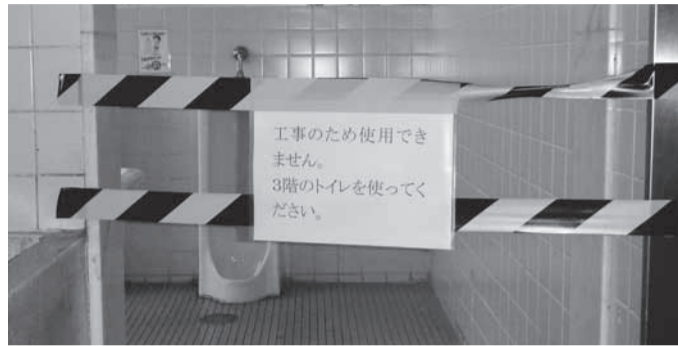
答 いじめ防止のための施策を総合的に推進していくことと、今後の子どもたちの健全育成のために、いじめ

め防止条例について研究をしたい。

市長 社会として、市としても、いじめは許さないと、いう意志の表明は大事だと思う。しっかり研究したい。

計画的改修を！ 小中学校トイレ

佐藤 隆治 議員



工事中の藤代小学校トイレ

問 小中学校でどんな便育をしているのか。

教育長 規則正しい排便の習慣づくりとして、小学校1年生の時に和式の便器の使い方や排便・排尿の意味などを指導している。また、排便は大事なので、トイレに入っている時は、からかったりしないように指導している。

問 古い未改修トイレの学校はどのくらいあるのか。

教育部長 小学校は15校、棟数31棟。中学校は2校、棟数6棟ある。

問 藤代小学校トイレが廊下まで臭い、勉強の妨げになるのではと相談を受けた。改修、改善を行うのか。

教育部長 耐震工事も終了したことから、壁の亀裂等の補修、タイル等の張り替え、流れの悪い便器の改修など、今年度予算の中で修繕工事を実施していく。

問 和式トイレ、洋式トイレの割合等も考え、大規模改修するトイレの計画を、もう少し踏み込んで示してほしい。

教育部長 今は、ほとんどの家が洋式のため、学校のトイレに低学年の子どもは違和感を覚えていると思う。トイレの改修は、現状を把握して改修計画を作り進めたい。

学校体育館の 開放利用時間延長

小嶋 吉浩 議員

問 私が見る限りでは、周りに田んぼが多く、特に近隣住民に配慮することがななくても済むような学校もある。多くの利用者が開放利用時間延長を望んでいるので、試行的にでもやるべきだと思いませんか。

教育部長 利用時間延長については、三つの課題が

あった。(1)省エネ法の特
定事業者として、毎年1%
のエネルギー削減目標の義
務付け。(2)震災後のピー
ク電力カットなど節電への
対応。(3)掛け声や振動、
車のエンジンの音などに対
する対応。

これらの課題を教育委員
会としては、(1)と(2)
は、体育館の照明器具を省
エネタイプの電球に交換し、
年次的に省エネ対策を実施
し、省エネ法をクリアする。
(3)は、利用者の協力、
周辺地域に迷惑がからな
い学校を選ぶ必要があると
考える。

これらを勘案して、試行
的に、高井小、取手一中、
藤代中、藤代南中の体育施
設を夜10時まで利用時間を
延長したいと考えている。
時期は、7月ごろを予定。
電力供給の問題、地域住
民からの苦情等があった場
合には、再度、検討する。



高井小学校 (左が体育館)

盛り上げよう！ 市内イベント

山野井 隆 議員

問 消防団操法大会につい
て、競技の妨げにならない
範囲で、より人が集まるよ
うPRをしてみたい。市民
に消防団の活動を知って
もらい、消防団に入団する方
を増やす布石になるのでは
ないか。

消防長 広報とりで、ホ
ムページで周知している。
消防団の勇姿を広く市民に
ご覧いただけるよう、あら
ゆる手段を用い、一人でも
多くの人に見学してもらい
たい。

問 健康まつりは、歩くこ
との大切さなどを共有する
ためのアピールができる行

事。知名度がある方にPR
をお願いするなど、ウエル
ネス・タウン構想を盛り上
げていく上で充実させては
どうか。

健康福祉部長 歩くことも
重要なキーワードなので健
康に関する講演をいただけ
れば、かなり集客は見込め
る。しかし、例年、講師謝
礼の予算が少ない。

問 ウェルネス・タウンと
いうことであれば、健康を
再確認してもらおうためのP
Rの媒体である。これにど
のくらい効果的に予算をか
けられるかになってくる。
予算の拡充について伺う。
市長 積極的に研究、検討
をして拡大したいと思う。
合理的理由があれば予算化
していきたい。

ここも見てって

定例会は、年4回招集されます。定例会のほか、必要に応じて臨時会が招集される場合もあります。定例会の日程は、おおむね次のとおり行われます。

日付	会議	議事
1日目	本会議	開会、議案の上程、提案理由説明 市政に関する一般質問
2日目	本会議	市政に関する一般質問
3日目	本会議	市政に関する一般質問
4日目	本会議	市政に関する一般質問
5日目	本会議	議案質疑、委員会付託 請願・陳情の上程、質疑、委員会付託
6～9日目	委員会	原則として、1日1委員会を開催 *審議事件の数により、2つの委員 会を開催する場合があります。
10日目	休会	議事整理日
11日日	本会議	委員長報告、委員長報告に対する質疑 討論、採決、閉会

※実際は、土曜、日曜、祝祭日が入りますので、これよりも
会期は長くなります。
会期日程については、定例会前に、市ホームページ、ひび
きメールにてお知らせいたします。

情報発信を！ ウエルネス・タウン構想

市村 達明 議員

問 先日行われた久野筑波
大学教授のウエルネス講演
会で、市民が必要なもの
と将来必要なものは同じと
は限らず、実現のためには
粘り強く、それを説明する
必要があると言われている
た。市は背景・根拠等の説
明をする義務がある。まず、
健康づくりの啓発活動が足
りないと思うが、どうか。

市長 地域として健康を志
向する方向性は、自治体が
しっかり示すべきと考える。

問 ウエルネスのキーワー
ドに「歩く」があるが、こ
の言葉がなければ（B街区
に）駐車場がないのは、今
の段階では税金をかけた上
に不便になったと言われる。
意識付けを行うためには、
情報発信・公開だと思いが、
まだ足りない。ウエルネス
と健康について理解を得る
場がないのではないかと。

答 取手駅西口地域で歩い
て入ってきてくれるまちづ
くりをして、健康づくりを
しなければならぬという
のは一貫して話している。

問 フェイスブックなどで
健康づくりの特設ページを
つくることを提案したい。

答 広報紙を見ない人にも
伝える努力をということは

もっともなこと。積極的に
受け止める。

問題あり！ 小学校統合計画

関戸 勇 議員

問 市は小学校を統合しよ
うとしているが、学校がな
くなる予定の地域から9本
の請願・陳情が出されてい
る。どう受けとめるのか。

市長 子どもにとって最適
な環境を維持できるかが大
事。学校の現状をご理解し
ている方々に良識あるコン
センサスを得ていく。

問 戸頭地区の住民説明会
では統合を了解する声が一
つも出なかったが。

教育部長 PTA役員、保
護者、市政協力員、児童・
民生委員の方々には子ども
たちのためにご了解いただ
けたと感じている。

問 学校がなくなることは
子育て世代には大問題。子
育て世代を増やしたいのに、
統廃合を断行するのは。

答 私どもは子どもの学習
環境を良くするためにこの
計画を進めている。

問 平成21年に戸頭西小が
戸頭東小に統合される方針
が出されたことにより、4
月には戸頭西小地区に戸頭
東小の登校班ができた。こ
のままでは、戸頭西小から
1年生がいなくなる。その
ような事態は避けなければ

いけない。教育委員会の言
うこれまでと違った対応の
自身は。

教育部長 二つの小学校が、
それぞれの良さを合わせて、
同じ学習プラン、生活プラ
ンでやっていくことで魅力
ある統合ができると考える。

一刻も早い整備を！ 排水対策

金澤 克仁 議員



都市計画道路の工事状況（青柳）

問 雨で利根川が増水して
利根川への樋管が閉じられ
たときの内水排水の問題は、
昔からの市の重要課題。現
在の雨水幹線計画は平成17
年に策定されたが、ゲリラ
豪雨が頻発する現在、見直
しの必要がある。ゲリラ豪
雨のピークをどうカットす
るかということが重要。青
柳地域の都市計画道路整備

は進んでいるが、排水対策
の進捗状況は。

建設部長 24年度に下水道
組合が詳細設計をしており、
25年度、相野谷川へのはけ
口の工事を予定。また都市
計画道路3・4・3号線工
事に併せて、市が上流で工
事を行っている。

問 相野谷川下流を下水道
組合が、上流を市が行うと
いうことだが、都市計画道
路と県道がぶつかる部分の
整備については。

答 接続箇所は市が責任を
持つて行う。施工は平成29
年度の予定。

問 相野谷川まで全てつな
がれば青柳、井野、吉田の
排水が良くなる。つながる
のは何年度の予定か。

答 接続箇所の工事が最後
なので29年度の予定。

進んでる？ 取手駅西口周辺整備

結城 繁 議員

問 ウエルネス・タウン取
手の創造計画に賛成の立場
だが、取手駅東西自由通路
の整備が私にとつての条件。
前定例会では平成28年に完
成させたいとのことだった
が、その後の進捗状況は。

都市整備部長 JRと
（補償）交渉中。28年度を
目標にJRと進めている。

問 西口の区画整理事業は
どう進んでいくのか。

都市整備部長 平成24年度
に、はなのき通りで補償契
約が成立したところが、ま
ず、はなのき通りに面した
所、それから北へ入ってい
きたい。

問 地権者の方々は相当待
たされている。リボンビル
が復活した今、インフラ整
備を早く進めることが重要。

また、先日行われた久野
教授の講演会において、健
康の基本は歩くこととあつ
た。歩きたくなるためには
歩道の整備や坂道を歩いて
いて楽しくなるものが必要。
ウエルネスプラザなどが先
行しているが、芸術などソ
フトの部分も行うべきでは。



取手駅前から見たはなのき通り

市長 はなのき通りの勾配、
自動車進入のための歩道の
中断などが問題。まちづく
り協定等をつくりながら歩
道の質を高めることが重要。

教えて！一般質問

Q 一般質問は、いつ行うの？

A 通常、定例会初日から4日目まで行います。
初日は、市長提出議案の上程後に行いますが、2日
目以降は、開議時間から行います。

Q 一般質問はどのように行っているの？

A 一般質問を行う議員は、質問内容を事前に通告して
います。通告した内容以外の質問はできません。
質問内容は、市ホームページ、ひびきメールにてお
知らせしております。
(ひびきメールの受信については、2ページをご覧ください。)

Q 時間制限などはあるの？

A 1人につき、質問・答弁時間を含めて1時間以内です。
時間内であれば、何回でも質問できます。

小学校統廃合

川又 貞男 議員

問 教育に人数は関係ない。小規模校を理由に学校統廃合を進めることには賛成できない。白山西小通学区内からほかの小学校へ通っている学年ごとの人数を伺う。

教育部長 11月21日現在、1年生7人。2年生9人。3年生8人。4年生5人。5年生2人。6年生はなく、計31人。

問 申請があれば許可しているのか。

学務給食課長 申請前に理由について相談があるので、申請として上がるものは、ほとんど許可になっている。

問 例えば白山西小が廃校になった場合、自分の通学区ではない学校に行きたいと申請すれば通るのか。

答 学校選択制ということではないので、ただ行きたいだけでは認められない。申請に正当な理由があれば認めている。

問 学校の耐震化について、廃校予定の学校だからしないと思っている人が多いが、その点はどうなのか。

教育総務課長 かなり多くの学校の耐震化を進める上で、耐震化計画を作成し、順位付けをしている。その中で優先順位は高くない。

ウエルネスプラザ 建設計画

鈴木 潔 議員

問 パブリックコメントは賛否を問うものではないということだが、市民団体への説明会の中で、民主主義を否定するものではないかと厳しい批判があったが、政策推進部長 国、県などの制度を見ても、賛否を問うものではないと思う。パブリックコメントの考え方を理解していただきたい。

問 説明会で交付税措置と交付税額は一致しないことを認めた。総事業費12億円のプラザ建設の市の負担は7千万円と説明した財政計画は誤りではないか。

財政部長 一般財源が7千万円ということは間違いはない。合併特例債の元利償還金の70%が交付税の基準財政需要額に算入される。

問 税収が豊かになり交付税が来ない場合、税収で借金を払うということか。

答 市税等の一般財源で元利償還は払い、交付税措置はないことも考えられる。

問 合併算定から一本算定になる交付税額は、平成26年度から5年間段階的に減少し、さらに激減することは制度上も明らか。市負担の7千万円が、今後大幅に膨らむことは明らかか。

答 今後5年間で交付税が減額されるが、合併特例債で借り入れた起債の70%は基準財政需要額に間違いなく算入される。

生活環境の改善

遠山 智恵子 議員

問 藤代小学校のトイレは臭いがひどく、男子の便器はあふれてしまい衛生上からもひどい状態と聞く。改修が図られるということだが、具体的な内容は。

教育部長 ことし予定しているのは、トイレのはがれ、水の詰まり、天井の壁などの改修を考えている。

問 学校からも何年も前から改善を求めていたはず。改善箇所は既に把握していると思うが、その対応は。

答 緊急のものは予算の中で即時対応している。抜本的なものは大規模改修等に対応することになる。トイレの修繕計画は、実情を調査し、単独でできるように組み立てていきたい。

問 宮和田小学校体育館屋根のさびがひどい。一刻も早く改修に取り掛かるべき。教育総務課長 改修が必要なのは認識している。耐震化を優先的に行いたい。修繕・改修も検討したい。

問 市道0130号線(新川)について。双葉の街中

での交通事故後、道路改良が優先となった。工事も終わり、次は歩道設置に取り組んでほしい。



市道0130号線(新川)

見えてこない... まちづくり

飯島 悠介 議員

問 市長は、ウエルネス・タウンは地域力を上げ、取手を明るく元気にする一つの手段と話した。しかし、昨年1月公表の市民アンケートでは、「市民参加の推進と協働体制の構築」、「計画的で効率的な行政運営の推進」で満足の回答がともに10%未満。こういった市民の声をくみ取り、今後のまちづくりを行うことが大事。この結果を受けて、どのようなまちづくりを行うのか。

市長 全国で20市に入るぐらいの歳出削減を行ったが理解されていない。反省し、伝える努力をしたい。

まちづくりについては、取手らしさを取り戻す意味で、素晴らしい点をPRし、特色を多方面に打ち出していくことが大事だと思う。

問 事業の推進体制について、どういうまちづくりを行うのか見えてこない。説明の部分を意識して実行してほしい。基本構想にウエルネス・タウン構想が盛り込まれるのがきれいな形だが、状況の変化もあり取り組めない話だった。では、市民・議員を含め新しく作ることは考えないか。

答 環境の激変をしっかりと読み込むことと、新しい計画を作る時に、匿名ではなく、汗をかいてくれる人、コーディネート能力に長けた人が大事。

改修を！ 藤スポ体育館

わたなべ 渡部 日出雄 議員

問 藤代スポーツセンター体育館について、場内放送の改善要望があり、確認したところ、音が出てから消えるまでの時間が長く、極めて悪い。カバーのないコンクリートの壁が一番の原因と思うが、改善の考えはあるか。

教育部長 抜本的改修の前に、壁に吸音ボード等を設置する対策を考えている。音響は、22年に機器を更新したが、場所により聞きづらい所が残っているのは事実。抜本的改修の想定はしているが、教育委員会では、学校耐震化を進めている中で、学校以外の施設の改修もかんがみながら進めたい。

問 藤代スポーツセンター体育館の利用者1人当たりのコストが大きい。グリーンスポーツセンターは、使用料と別に冷暖房利用料を徴収している。体育館は、建設からまだ22年なので、改修したほうがよい。その際には利用者負担も必要かと思うが、考えは。

答 改修は少しずつ進めればと考える。空調機を設置した場合は、利用者負担になると思っている。



藤代スポーツセンター体育館

今後の計画は？ 公園・健康遊具

石井 めぐみ 議員



しいの木公園（藤代南）

問 10月に南町会長、パトリール会長と公園設置の要望書を提出した。市の計画ではどうなっているか。
市長 来年度より地元の皆様と検討会を立ち上げて、26年度に整備を進めたい。
問 どのように進めるのか。
建設部長 以前整備した、しいの木公園は、計画段階から地元と協議した。また、できる工事はしていただきたい。このような形で協議会を立ち上げて進めたい。
問 健康遊具について、今後の設置計画と、ウエルネスプラザ内や他の公園への設置の考えは。
高齢福祉課長 毎年1カ所ずつ予算の状況を見ながら

設置する考えはある。公園整備と介護予防のタイアップ事業になるので、担当課で協議、選定をしていかなければと思う。

問 今後、健康志向の高くない高齢者に対し、健康なまちづくりへの働き掛けが必要になるが、市の考えは。
答 そのような気持ちのない方も参加するような施策を組まなければならぬ。今後、勉強していきたい。

とりでFMの効果と放送終了後について

吉田 宏 議員

問 臨時災害FMの市民の反応と放送実施後の効果は。
市長 臨時災害FMは、災害情報を正確かつ迅速に伝達する手段として、どのような効果があるのか。また、免許の範囲でどこまで活用できるのかを検証するもの。その中で、89・4メガヘルツに合わせる習慣付けはできた。市民の反応は、当初は消極的な意見が目立っていたが、今は激励を受けている。市外からも中身や工夫についての声は相当ある。狙いとした自助意識の啓発という効果は出ている。
問 災害情報に関連した放送内容という制約の中で、どのような工夫をしたのか。
総務部長 防災訓練の状況や健康福祉まつりなど、聞

いていただくということ、工夫をしている。最近、南相馬市の方々の避難所生活について放送した。

問 1月末に放送が終了することは残念。今後の災害情報の提供手段は。
答 ツイッターやメールアドレスを活用してもらえようPRしたい。また、近隣のコミュニティFMと連携ができるのか研究していきたい。

子どもの健康を守るために

池田 慈 議員

問 原発事故子ども・被災者支援法が制定されたが、まだ支援対象地域も定まっていない。市が指定を受けることについての考えは。
健康福祉部長 復興庁に確認したところ、年度末には地域指定を行う予定という回答をいただいている。市としても、地域指定に向けて、なるべく早くしていたいく姿勢で臨んでいる。
問 福島第一原発事故から1年8か月以上経つが、市民は健康への影響を不安に思っている。市は健康を守るため、どのような取り組みをしてきたか。
答 保健センターに相談窓口を開いた。近隣で検査を行っている所もあるが、常総4市で足並みをそろえて

対処している。一市町村で行うのではなく、もっと広い、県単位で疫学的なデータを集めた中で結果を求めないと分からないので、国に要望している。地域指定を受ければ、精度の高い健康調査ができるかと期待し、その方向で進めている。

問 小1・中1で心電図検査を行っているが、今年度の結果は、要管理者が22年度比3倍弱に増加。子どもたちの健康を守ることに、ウエルネス取手の実現に結びつく。毎年、全学年の心電図検査をすべきと考える。健康福祉部次長 放射線物質との因果関係に疑問。研究・勉強していきたい。

医療費無料化の拡大を！

加増 充子 議員

問 子どもの医療費無料化は、中学校卒業までが主流。近隣市町でも、小学校卒業まで、また中学校卒業まで実施している所がある。市は、今のまま続けるのか、もっと良くしたいと思っているのか。
市長 子どもを育てる皆さんが充実してほしい分野であることは痛感している。やりたいところではあるが、この先の施設の再編、行革の見直し、産業振興の面での見直しを立てながら、期

待に比べられるように頑張っていきたい。

問 市の子育て世代が、この2年間で減少している。群馬県では、少子化が進んでいる状況を打開するため、中学校までの医療費を完全無料化した。子育て支援が一番にやることであり、若者が戻ってくることで、市が活性化される。もっと早く充実させる考えは持っているか。
健康福祉部長 財政状況を判断し、なるべく進めていきたい気持ちは持っている。財政状況を見ながら、子育てしやすい環境を整えていきたい。

事務処理は適切？ ウエルネス・タウン

佐藤 清 議員

問 自転車駐車場実施設計業務委託の内容に特記仕様書があり、その中に不動産鑑定業務が書いてあったが、都市整備部長 特記事項に自転車駐車場整備に関する基本方針・対応方策検討があり、その中に機種選定と基本設計がある。その基本設計の中で、仮換地指定の土地の不動産鑑定評価をお願いしている。
問 不動産鑑定は、今までは鑑定を必要とするのかを鮮明にするために不動産鑑定業務委託で（予算を）上

げている。適正な手続きで計上してほしい。
歩行者デッキ工事の入札を行ったが、市の名義でない土地に降り口を設計して発注したのは、どういうことか。
答 権利者から合意書を得たとき、入札を行っている。

問 自転車駐車場工事の入札が不調に終わった。予定価格より1億数千円も上回ることは、非常に問題がある。設計業者が間違った計算をしたのではないか。
副市長 現段階で計算ミスは見つかっていない。

問 設計の業務発注期間が、当初の計画では、今年の9月から3月までだったが、今年の8月までだった。どうしてか。
都市整備部次長 歩行者デッキの正確な高さなどの確定が必要だったことと、関東鉄道への進入に関する協議があり、時間を要した。

問 今後の定例会は、2月28日（木曜日）開会の予定です。

平成24年第4回定例会の議決結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。
議長（倉持光男議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

種別	件名	議決結果	賛否数		会派名、議員名及び賛否の別																							
					創世クラブ					はやぶさ					公明党			日本共産党			民	志	彰	と	み			
					賛	反	石	川	山	小	吉	入	佐	倉	渡	金	中	佐	赤	落	染	阿	齋	関	鈴	遠	加	結
市長提出	学校設置条例の一部改正	原案可決	18	7	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○
	市有財産の処分	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
	市道路線の認定	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
	取手駅西口都市整備事業特別会計補正(第2号)	原案可決	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
	取手駅西口都市整備事業特別会計補正(第3号)	原案可決	16	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×
	取手駅西口歩行者デッキ整備工事契約	原案可決	16	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×
議員提出	日米安全保障条約廃棄を求める意見書	否決	4	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	
	上下水道使用基本料金細分に関する意見書	原案可決	24	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	取手駅西口自転車駐車場新築工事における入札不調の検査に関する動議	否決	9	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	
請願・陳情	ウェルネス・タウン取手の創造に関する請願	不採択	8	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	
	ウェルネスプラザ関係予算執行停止を求める請願	不採択	8	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	
	小学校統廃合計画見直しを求める請願	不採択	6	19	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	
	小学校統廃合計画中止を求める請願書	不採択	6	19	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	
	戸頭西小学校存続・耐震化を求める請願	不採択	7	18	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	
	白山西小学校存続・耐震化を求める請願	不採択	8	17	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	
	小文間小学校統合に関する陳情	不採択	5	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	
	小文間小学校の統合に関する陳情	不採択	5	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	
	原発事故子ども・被災者支援法に基づく施策の実施を求める請願(請願事項2)	採択	24	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃(請願事項3)	不採択	12	13	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	〃(請願事項4)	不採択	10	15	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ウェルネスプラザ中止を求める請願	不採択	8	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	
	取手駅西口活性化早期実現を求める請願	採択	16	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
	多目的ホールの建設を求める請願	採択	15	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
実体の無い物件は減額扱いにする陳情	不採択	6	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×		
駅前窓口移転に関する陳情	採択	22	3	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
延滞金減免の陳情書	不採択	5	20	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×		

会派名：彰考会=彰考会@取手、とりで生活=とりで生活者ネットワーク

以下の議案・請願等は、全員賛成で原案可決、承認、採択と決しました。

○市長提出議案

(原案可決) 空き家等適正管理条例、証人等実費弁償に関する条例の一部改正、手数料条例の一部改正、青少年センター設置条例の一部改正、こども発達センター設置・管理条例の一部改正、市道路線の変更・廃止、一般会計補正、国民健康保険特別会計補正、後期高齢者医療特別会計補正、介護保険特別会計補正

(承認) 一般会計補正の専決処分

○議員提出議案

(原案可決) 議会会議規則の一部改正、議会委員会条例の一部改正、議員報酬等特例条例の一部改正、日米地位協定見直しを求める意見書、メタンハイドレート実用化を求める意見書、防災・減災体制再構築推進基本法制定を求める意見書、希少疾病用医薬品の開発促進・支援の法整備等を求める意見書、若者世代支援策を求める意見書、原発事故子ども・被災者支援法対象地域に茨城県の指定を求める意見書

○請願・陳情

(採択) 原発事故子ども・被災者支援法に基づく施策の実施を求める請願(請願事項1・5)、上下水道使用基本料金細分に関する陳情、小文間小学校の統廃合に関する陳情

以下の請願・陳情は、内容が原案可決した学校設置条例の一部改正と相反するものであるため、不採択とみなしました。

井野小学校の存続を求める請願、小文間小学校存続を求める請願、小文間小学校の存続に関する陳情